

宮里：で中原のところはもう、その、内地から呼び出したので、獣医を

砂川：はい

宮里：もう、それでもう、で今、あそこの土地も切り売りして売ったりしてるからね

砂川：えっ、売ってるんですか

宮里：あ、もう半分以上売られてるはずですよ

砂川：え、その中原が売ったんですか、土地を

宮里：はい

砂川：お金に変えたんですか

宮里：はい

砂川：ああー、それは騙されましたよねそれ

宮里：だからそうなんですよ

砂川：あの一、先生にね、その一、手術もしてもらおうと、避妊手術とかも、それで僕、交渉してたと思うんですよね、それで、その獣医をね、内地から呼びよせた時に先生何か中原に言わなかったんですか

宮里：いや知らなかったんですよ

砂川：ああ

宮里：後から知ったんです自分は

砂川：ああだから僕と同じですね、内緒でされたっていう事ですよ

宮里：はい

砂川：ああー、はいはいはいはい

宮里：だから本当は売る前から決まっていたみたいですよ

砂川：えっ、でもそれっておかしくないですか、うちは先生の所でやってもらうって事で交渉してましたよね

宮里：いやでもそれは契約交わした訳でもないし

砂川：あ、まあ、口約束ではあたんですけど、はい

宮里：はい

砂川：だから僕、先生からね、鍵借りて現地とかも、あの時中原混じってましたよそういえば、現地見に行く時に、呉屋が連れて来てました、自分の右腕だって言って、そこでね、あのうち

宮里：でもいや、全然、全くあの一、その後っていうか

砂川：はい

宮里：もうだから犬が移ってからは逆にお互いに悪口言い合っていましたから、全くそういう信頼関係は無かったはずですよ

砂川：あその、呉屋と中原ですか

宮里：はい、はい

砂川：あー、そんな感じだったんですね、でその中

宮里：憎しみ合ってる位の

砂川：で

宮里：感じでしたよ

砂川：先生がその中原に、あの一、その獣医の事とかも言った時に中原笑ってたんですか

宮里：笑ってましたね、笑ってました